

# 新型コロナウイルス感染症の影響について

出版事業部 企画調査室

## 1. はじめに

2019年12月に中華人民共和国武漢市で初めて報告された新型コロナウイルス感染症は、2020年1月16日に国内初の感染者が確認されて以降、感染が拡大。4月7日には政府が「緊急事態宣言」を発出し、外出の自粛を要請したことで、社会・経済活動が停滞。5月25日に緊急事態宣言が解除されたが、いまだ収束の見通しはたっていない。

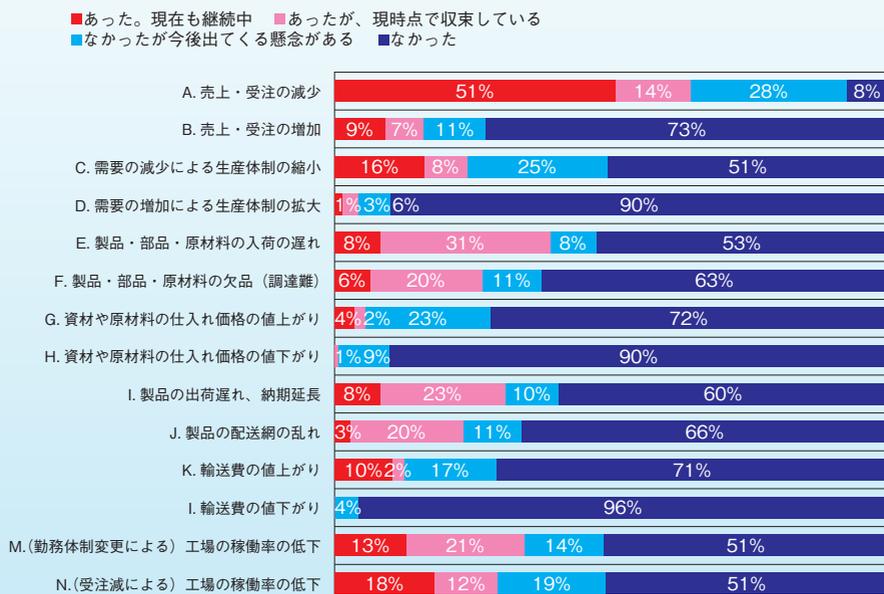
そこで、経済調査会では新型コロナウイルス感染症により、企業が受けた影響やその対応について緊急アンケート調査を実施。調査時期

は、6月19日に県境をまたぐ移動制限が緩和され、社会・経済活動が動き始めた6月中旬から7月上旬。リフォーム関連資材を取り扱っている資材メーカー247社（任意）に調査票を郵送し、150社から有効回答を得た。

## 2. 新型コロナウイルス感染症による影響について

新型コロナウイルス感染症の影響により売上・受注の減少があったとする企業は94社（65%）あった。なかったが今後出てくる懸念を抱えている企業も41社（28%）あり、影響

図-1 新型コロナウイルス感染症による影響



(注) 構成比は端数処理（四捨五入）の関係で合計が100%とならないことがある。

の大きさが伺い知れる。

製品・部材・原材料の入荷の遅れがあったとする企業は57社（39%）あったが、調査時点では45社（31%）が収束していると回答。製品の出荷遅れ、納期延長が継続しているとする企業も12社（8%）にとどまっている。

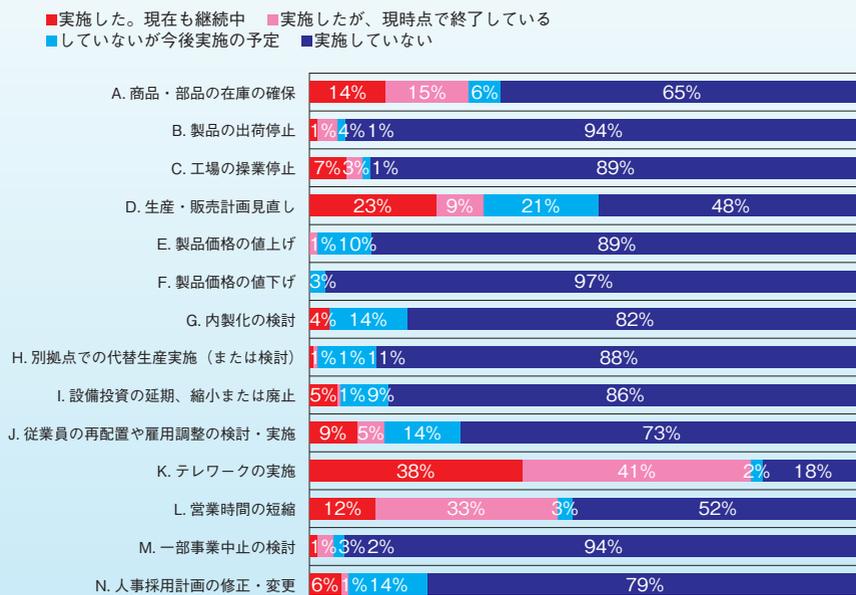
特に影響の大きかった製品では、キッチン（システムキッチン、IHヒーターなど）、内装（壁紙、珪藻土、床タイルなど）、外壁などの意見が寄せられた。

### 3. 新型コロナウイルス感染症に対する対応について

新型コロナウイルス感染症に対する対応として最も多いのがテレワークの実施で114社（79%）。8割近い企業がテレワークを実施し、現在も継続している企業が4割近くを占めている。次いで営業時間の短縮64社（45%）、生産・販売計画の見直し44社（32%）が続く。

今後、新たに注力していきたい製品やサービスを聞いたところ、最も多かったのは「web検索サイト」「web広告」「動画配信」などHPやweb活用による販売強化を挙げる企業が多かった。また、輸入製品を取扱い品目から減らし、自社国内工場製品を増やすと回答する企業もあった。

図-2 新型コロナウイルス感染症に対する対応



（注）構成比は端数処理（四捨五入）の関係で合計が100%とならないことがある。